

琉球大学学術リポジトリ

資料等

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学大学教育センター 公開日: 2018-07-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/41212

編集後記

大学教育センター：西本 裕輝

本年度は、URGCC 導入 3 年目となり、24 年度に入学した学生も 3 年次となっている。

大学教育センターおよび URGCC 推進支援室では、学生の追跡調査等を通して、学生の学習成果の把握に努めている。例えば、パネルデータを用いて 1 年次調査と 2 年次調査の比較等が行えるようになってきている。このように毎年学生調査を実施することにより、学年進行に従って学生の能力がどのように伸びていくかについてのエビデンスを示すことが可能となっており、さらにそのデータを学士教育プログラムごとにフィードバックすることも始めている。

本号ではそうした取組の一環として、2012 年調査と 2013 年調査の比較を通して、学習成果の確認を行っている。その中で、URGCC の 7 つの学習教育目標がどの程度達成されているのか、学習時間はどのように伸びているのか等が確認できる。

特に学習時間に関しては、中教審答申でも重視されているにもかかわらず、短めとなっている。学習時間 0 分の学生もかなりおり、極端に学習時間の少ないプログラムもあった。もちろん学習時間さえ長ければそれでよいということでもないのであるが、少なすぎるのはやはり問題であろう。

本センター報のさまざまなデータが活用され、教育改善のための一助となれば幸いである。